

中越大震災復興祈念碑建立工事 概要書

1. 設置場所

長岡市山古志竹沢甲 2482 番地 1 (別添「設置場所写真」を参照してください。)

2. 基礎工事

設置場所を水平に整地し、整備した基礎の区画内に祈念碑等を設置することとします。なお、基礎工事に使用する石や砂利等の産地・材質は問いません。

整地する際は、雨水や積雪による土砂の流出を防ぐために、擁壁等の土留めを設置してください。

3. 構造・設計

- ・ 現地の気候条件(積雪、強風等)や地震など自然災害の発生を充分考慮し、将来にわたって耐久性に富んでいる構造としてください。
- ・ 設置場所付近は、斜面となっているため、安全性に十分配慮した設計としてください。
- ・ 祈念碑が安易に踏みつけられたりすることがないように設計としてください。
- ・ 山古志の原風景と周辺施設との調和をとり、格調高いデザインとしてください。
- ・ 設置向きは、遊歩道から見て正面となる向きとします。

4. 石材

祈念碑に使用する石材については、その石材を選定した理由について説明書(任意様式)を作成してください。

5. 御製の表示方法

次のいずれかの方法とします。また、文字の色は特に指定しませんが、御製がはっきり読み取れるデザインとしてください。

A: シンボルとなる石材の表面に、直接文字を彫り込む方法

B: シンボルとなる石材に、文字を彫り込んだ御影石等を剥がれないように貼り付ける方法

6. 揮毫

- ・ 揮毫者は長岡市が選定します。施工業者は、揮毫者と打ち合わせのうえ、御製を作成してください。
- ・ 揮毫者への謝礼は、長岡市が支払います。設計には含めないでください。

7. 碑文

碑文は、祈念碑自体又はその周辺に設置することとし、設置区画の範囲内であれば、材質・サイズ・位置は自由とします。なお、文章は正面から見える向きに設置してください。

8. その他

- ・ 碑文の内容は平成 23 年 8 月下旬頃に提示する予定です。
- ・ 御製は、縦書きで彫り込むことを基本とします。
- ・ 祈念碑又は碑文に、「設計・施工業者名」を表示することは、不可とします。